

「徳島県文化芸術推進基本計画(仮称)」の骨子案について

平成30年10月26日

徳島県文化創造審議会事務局

「徳島県文化芸術推進基本計画(仮称)」策定へ必要な視点

「あわ文化」を取り巻く課題解決を図り、発展に導くための基本計画策定に必要な「5つの視点」

視点①

県民の「文化力」向上へ、文化活動を「鑑賞・体感する」「発表する」機会の一層の充実を図る必要がある。

県民主役の「あわ文化」の推進

視点②

「あわ文化」を継承するとともに、新たな文化の創造へ、若い人材を育成し、担い手不足の解消を図る必要がある。

「あわ文化」の担い手育成

視点③

人口減少に伴い疲弊する地域の活性化へ、地域に根ざす文化の力を、交流人口・関係人口の拡大を図る起爆剤として利用する必要がある。

「あわ文化」息づくまちづくりの推進

視点④

文化と経済の好循環へ、伝統文化や文化財、景観などを、商品開発や観光誘客に積極的に活用していく必要がある。

「あわ文化」の力を積極的に活用

視点⑤

「あわ文化」の更なる発展へ、「4大モチーフ・あわ3大音楽」をはじめとするレガシーを、国内外に発信するとともに、「伝統文化」と「メディア芸術」の融合など新たな価値を創造する必要がある。

「あわ文化」ブランドの発信・創造

「徳島県文化芸術推進基本計画(仮称)」が描く目指すべき姿(骨子案)

「5つの視点」に基づき、「あわ文化」推進のための基本的方向性を「5本柱」により整理

5つの視点

基本的方向性

県民主役の「あわ文化」の推進

未知なる価値！みんなで創る「あわ文化」

「あわ文化」の担い手育成

未知なる魅力！創る、育てる「人材・才能」

「あわ文化」息づくまちづくりの推進

未知なる創生！文化の力で「まちづくり」

「あわ文化」の力を積極的に活用

未知なる融合！文化と経済との「好循環」

「あわ文化」ブランドの発信・創造

未知なる展開！「あわ文化」ブランドの創出

目指すべき徳島の姿

未知なる世界にはばたく文化立県へつなぐ